

岡崎混声合唱団・岡崎高校コーラス部

第33回定期演奏会

◆ Eric Whitacre
『Three Flower Songs』
『Nox Aurumque (Night and Gold)』

三善晃／谷川俊太郎

混声合唱とピアノのための

『愛の歌』

指揮：近藤恵子

ピアノ：金澤みなつ (客演)

演奏：岡崎混声合唱団・岡崎高校コーラス部

◆ 信長貴富
無伴奏混声合唱による
『コルシカ島の2つの歌』

指揮：近藤恵子

演奏：岡崎混声合唱団

◆ 千原英喜
混声合唱のための
『方丈記』

指揮：米津春佳・奈良俊佑

演奏：岡崎高校コーラス部

◆ オムニバスステージ
『響け！
私のチアソング』

構成：岡本絵里

演奏：岡崎混声合唱団・

岡崎高校コーラス部



2012年 3月24日[土]
愛知県芸術劇場コンサートホール
14:00 開演 (13:15 開場)

入場料(全席指定) S席/2,000円 A席/1,000円 B席/500円

■ 車椅子席をご希望の方は、合唱団事務局までお問い合わせ下さい。
■ 合唱団事務局：中根俊樹 TEL・FAX 0564-51-4060
■ 後援：愛知県 岡崎市 岡崎市教育委員会 岡崎文化協会
愛知県合唱連盟 朝日新聞社
■ 主催：岡崎混声合唱団 ※未就学児童のご入場はお断りしております。

■ チケットのお求めは……
チケットぴあ… <http://pia.jp/t> ©TEL 0570-02-9999 ©Pコード：155-799
チケットぴあスポット・ファミリーマート・サークルK・サンクスでも直接お買い求め
頂けます。
愛知県芸術文化センター内プレイガイド ©TEL 052-972-0430

第33回 定期演奏会によせて

二宮 咲子 (ソプラノ歌手)

高校1年の春、近藤^{さとこ}恵子先生との出会いが私の音楽人生の始まりでした。先生から発せられる“独特の魔法の言葉”で、声・表現のイメージが広がり、急激な歌声の変化を起こす、驚きと楽しさを感じるレッスンを受けていました。——いわゆるこれが『恵子マジックにかかる』ということでしょうか。——岡口・岡混との初共演は2002年の定演。演奏会場をそれまでの岡崎市内からこの愛知県芸術劇場コンサートホールに移した、そんな記念すべき年に演奏された曲は、モーツァルトの「レクイエム」でした。そこにまだ大学を卒業したての私をソリストとして招いていただいたのです。私は岡高生ではありませんでしたが、どこか岡口・岡混のことを『同じマジックにかかった仲間』のように感じていました。共演は嬉しかったのですが、本番では私は緊張感からか思うような演奏ができず、終わった途端悔し涙が止まらなかったのを覚えています。

近年の2つの合唱団の活躍は国内にとどまらず、世界でもその確かなハーモニーで歌声を響かせてくれています。私もその活躍を嬉しく思っています。最近ではオペラの合唱としても多く出演され、合唱の舞台では直立不動(?)な皆さんが歌い演じる姿は新鮮に感じました。

さあ、今年のステージはどんな世界の歌声を響かせてくれるのでしょうか?そして私は、あの10年前の“悔し涙”を“嬉し涙”に変えるチャンスを待っています!!

二宮 咲子 (にのみや・さきこ)

愛知県岡崎市出身。国立音楽大学声楽科卒業。声楽を近藤恵子、益田道昭、甚目裕夫の各氏に師事。第2回長久手オペラ声楽コンクール特別賞受賞。第36回イタリア声楽コンクール、ファイナリスト。プッチーニ作曲「蝶々夫人」蝶々さん役でデビュー。その後、モーツァルト作曲「魔笛」パミーナ、プッチーニ作曲「ラ・ボエーム」ミミ、ビゼー作曲「カルメン」ミカエラ役等に出演。その他、モーツァルト「戴冠ミサ」「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、フォーレ「レクイエム」、オルブ「カルミナ・ブрана」等のソリストをつとめる。2011年8月には、イタリアで行われた、第57回プッチーニ・フェスティバル「蝶々夫人」公演にて蝶々さん役を3度つとめ成功をおさめる。

腹郁たる美声、風格ある容姿にとどまらず柔軟な音楽性でどの役においても感動へと導く。また、その気さくな人柄にファンは多く、テレビ出演も相まって今が旬のソプラノ歌手としてその活躍はますます広がりを見せている。

◆◆◆ 出演者プロフィール ◆◆◆



指揮 / 近藤 恵子

1968年、新任音楽教諭として岡崎高校に着任以来、コーラス部を全国トップレベルの合唱団へと育てる。「World Choir Games(合唱オリンピック)」では青年混声部門日本代表として岡崎高校コーラス部を率いて出場、5大会連続の金メダル、3度のワールドチャンピオンに輝き、優秀指揮者に与えられるConductors-Prizeを受賞した。今年度11月に行われた「Busan Choral Festival & Competition 2011(釜山合唱世界大会)」でも岡崎高校コーラス部を混声部門優勝に導き、全部門を通じてのベストコンダクター賞を受賞している。また「全日本合唱コンクール全国大会」では、2006年に岡崎混声合唱団を、2008年に岡崎高校コーラス部を、部門一位である文部科学大臣賞に導いている。オーケストラの合唱指揮指導者としても、(故)佐藤功太郎、(故)若杉弘、ヤン・クレンツ、ゲルハルト・ボッセ、小林研一郎、尾高忠明、ティエリー・フィッシャー各氏からの信頼も厚く、数多くの指導依頼を受けている。ソリストとしても、ソロサイタルや名古屋二期会会員としてオペラ活動を活発に行い、歌唱力・演技力ともに高い評価を得ている。豊川コールドアカデミー、豊川で第九を歌う会、三河市民合唱クラブの常任指揮者としても活躍。声楽を瀬山詠子、(故)R. リッチの各氏に師事。豊川市文化奨励賞、岡崎市教育文化賞、愛知県教科教育功労賞、中日教育賞を受賞。現在岡崎高校、名古屋芸術大学非常勤講師。

ピアノ / 金澤 みなつ (客演)

名古屋出身。愛知県立芸術大学音楽学部器楽学科(ピアノ専攻)卒業、同大学定期演奏会、卒業演奏会に出演。同大学院音楽研究科音楽専攻博士前期課程(修士)首席修了。これまでにピアノを遠藤誠津子、大口光子、掛谷勇三、ヴァディム・サハロフ、松本総一郎、作曲を若林千春の各氏に師事。第33回読売中部新人演奏会に出演。第10回中部ショパン学生ピアノコンクール銀賞。第23回日本ピアノ教育連盟ピアノオーディション全国大会出場・入賞者演奏会に出演。第10回大阪国際音楽コンクール Age-U エスポワール賞、ガラコンサート(パリ)に出演。2010年YBP国際コンクール総合第1位。第11回大阪国際音楽コンクール Age-G 第1位、ウィーンカラシップ、Germaine Mounier 賞、ショパン賞、レッスンの友賞受賞。2007年ポーランド・クラクフ音楽院プロフェッサーらと「ピアノリオのタバ」で共演。2008年よりムランダンテ音楽祭(フランス)にてディプロム取得、ディーナ・ヨッフエ氏に師事。現在、同大学院音楽研究科音楽専攻博士後期課程在籍。大阪国際音楽コンクール公式伴奏者。ソロ、伴奏、室内楽各分野で幅広く演奏活動を行っている。



岡崎混声合唱団

1979年、前身である「岡崎高校コーラス部OB合唱団」を結成。以来同校教諭、近藤恵子を常任指揮者として合唱活動を継続し、1999年に団名を「岡崎混声合唱団」に改称、2010年には創立30周年を迎えた。全日本合唱コンクールでは全国大会の常連として活躍し、今年度も通算10回目の全国大会出場を果たしている。また今年度10月に開催された愛知県合唱連盟創立50周年記念演奏会のステージ「カルミナ・ブрана」においては、合同合唱団の中心的役割を担った。毎年3月に岡崎高校コーラス部と合同で定期演奏会を開催。大編成の合唱団でありながら、個々のメンバーでの小アンサンブル等、そのパフォーマンスの幅は広い。名古屋フィルハーモニー交響楽団との共演や市民音楽祭への参加等、幅広い活動を通じ、地域の音楽文化の向上を目指している。平成17年度愛知県芸術文化選奨文化賞受賞。

愛知県立岡崎高等学校コーラス部

1949年結成。1968年近藤恵子教諭着任の翌年、創部以降初めてNHK全国学校音楽コンクール県大会1位、東海北陸大会で3位に入賞し、通算18回目の全国大会に出場した今年度は優良賞を受賞。また全日本合唱コンクールでは1993年以降通算16回の全国大会出場を果たし、2008年度には念願の文部科学大臣賞を受賞、今年度も金賞を受賞した。他にも海外での活躍として、Whorld Choir Games(合唱オリンピック)青年混声部門に日本代表として出場し、2000年の開催以来5大会連続の金メダル、通算3回の最優秀賞を受賞。今年度11月に行われた Busan Choral Festival & Competition 2011(釜山合唱世界大会)でも混声部門優勝の栄冠を獲得した。これまでに愛知県知事賞を2度、愛知県芸術文化選奨文化奨励賞を3度受賞。